

各 位

会 社 名 日本セラミック株式会社
代表者名 代表取締役社長兼会長 谷口 義晴
(コード番号 6929 東証第 1 部 大証第 1 部)
問合せ先 取締役 総務部長 米澤 泰
(TEL. 0857 - 53 - 3600)

(訂正・数値データ訂正)「平成 22 年 12 月期第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」

当社は、平成 22 年 11 月 5 日 15 時 30 分に発表致しました表記開示資料について訂正がありましたので下記のとおり訂正致します。尚、訂正箇所には下線を付して表示しております。

記

1. 訂正の内容

- (1) 訂正箇所 2 頁「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 (2) 連結財政状態に関する定性的情報」

【訂正前】

【省略】

当第 3 四半期連結会計期間の連結キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。
営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、税金等調整前四半期純利益 1,664 百万円、仕入債務の増加額 1,577 百万円等により 3,934 百万円(前年同四半期 2,837 百万円の収入)の収入となりました。
投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、設備投資による有形固定資産の取得 647 百万円、投資有価証券の取得 595 百万円などによる支出、また、有価証券の償還による収入 404 百万円等により 1,289 百万円の支出(前年同四半期 2,926 百万円の支出)となりました。

【以下省略】

【訂正後】

【省略】

当第 3 四半期連結会計期間の連結キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。
営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、税金等調整前四半期純利益 1,664 百万円、仕入債務の増加額 1,577 百万円等により 3,763 百万円(前年同四半期 2,837 百万円の収入)の収入となりました。
投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、設備投資による有形固定資産の取得 477 百万円、投資有価証券の取得 595 百万円などによる支出、また、有価証券の償還による収入 404 百万円等により 1,119 百万円の支出(前年同四半期 2,926 百万円の支出)となりました。

【以下省略】

(2) 訂正箇所8頁「(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書」

【訂正前】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日至平成9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	<u>3,934</u>
その他	<u>68</u>
小計	<u>3,977</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>△1,289</u>
有形固定資産の取得による支出	<u>△647</u>

【訂正後】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日至平成9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	<u>3,763</u>
その他	<u>△101</u>
小計	<u>3,807</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>△1,119</u>
有形固定資産の取得による支出	<u>△477</u>

2. 訂正の理由

キャッシュ・フロー表作成時の錯誤により、「営業活動によるキャッシュ・フロー その他」欄と、「投資活動によるキャッシュ・フロー 有形固定資産の取得による支出」欄に計上の相違があり、今回訂正させていただきます。尚、上記の訂正はそれぞれの項目の同額の増加、減少となるため、現金及び現金同等物の四半期末残高には変更はありません。

以 上